

第2回 徳島市男女共同参画推進ネットワーク会議



令和4年4月20日（水）13:30～
ホテル千秋閣 6階 孔雀の間

徳島市男女共同参画センター

第1回 ネットワーク会議（意見等） 令和3年11月24日

女性活躍の推進

- 経営者は女性活躍を望む一方、女性自身が管理職に関する実感乏しい。（団体による経営者・女性従業員アンケート結果より）
- 女性管理職制度への取組の推進が必要であると、団体による経営者や女性従業員への提言を実施した
例）キャリアの延長線上にある管理職を意識し仕事をする
専門スキルを高め、自ら望む道に進めるよう自己啓発の実施
研修制度やロールモデルの確立
- 政治が変わらなければ、男女共同参画は浸透しない
- 仕事と生活両立支援、キャリア形成サポート、女性が長く働き続けるための施策を実施している（企業の取組）
- 女性起業、若者支援の実施（セミナー、大賞創設、出前講座等）に取り組んでいる（団体の取組）

働き方改革・子育て・職場環境整備

- 土・日勤務における女性の働きにくさを非常に実感
- 子育て世代が働ける時間に働く働き方を実践（団体）
- 子育てしながら、自身も充実して働ける環境づくりをしたい
- 子育て世代の経営者が増加しているため、勉強会を夜から昼間に変更
- テレワークなど、働き方が多様化
（女性が働きやすい環境づくりを加速する必要）
- 子育て関連費用補助の充実（県へ要望）

第1回 ネットワーク会議（意見等） 令和3年11月24日

男女共同参画の意識改革

- 年代により男女平等の考え方違う
(各家庭で家事・育児の話し合いができるように)
- 女性も男性も男女共同参画の考え方を変えていく必要がある
- 男性は基幹的な仕事、女性は補助的な仕事という固定観念意識を変えていく必要がある。
例) 女性は遠慮し、男性を会長職に

若者・女性の流出

- 若い女性の都市部への流出が問題
- 若者が流出する理由として、徳島でいきいきと活躍している同年代がない

ロールモデルの確立

- ロールモデル不在による若者流出
- 女性管理職のロールモデルの確立

ネットワーク会議の連携

- 企業とタイアップ、子育て支援と一緒に関わり、子育て環境をよくする(子育て支援施設)
- 地元企業と学生との協働による地域清掃の推進(若者に仕事の話や育休の話)

徳島モデル・徳島からの発信

- コロナ禍で働き手が地方へ移動(今がチャンス)
- 男女共同参画を徳島から発信
- 女性活躍を徳島市の魅力として発信
- 男女共同参画社会に向けた徳島モデルの仕組み形成
- 阿波女のブランディング

徳島市男女共同参画推進ネットワーク会議取組方針案

ジェンダーギャップの解消や男女共同参画を推進し、性別等にかかわらず、誰もが自分らしく生き、その個性や能力を十分に発揮し活躍できる徳島市を目指し、次のことに取り組んでいきます。

- 1 ジェンダーギャップの解消に向けた機運醸成や男女共同参画推進に向けた意識改革に取り組みます。
- 2 女性自らの意欲や意識を高め、その個性や能力が十分に発揮できる活力ある社会づくりに取り組めます。
- 3 男性も女性もともに仕事と家庭の両立ができる環境づくりに取り組めます。
- 4 若者や女性が生き生きと暮らし、あらゆる分野に参画できるまちづくりに取り組めます。
- 5 徳島市からジェンダーギャップ解消や男女共同参画を発信し、阿波女が活躍するまち（徳島モデル）づくりに取り組めます。

固定的役割分担意識の解消・ジェンダーギャップの解消

男女共同参画

根強く残る固定役割分担意識の解消、ジェンダーギャップの解消は、性別・世代にかかわらず、あらゆる人々が男女共同参画の意義について理解を深めていくことが必要

現 状

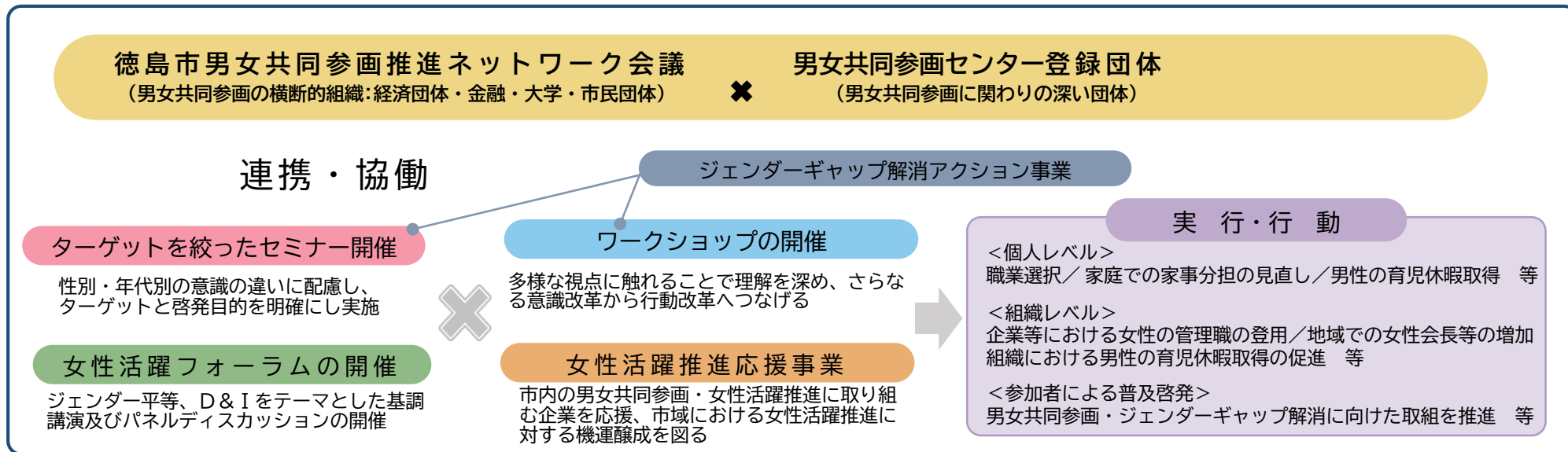
男女共同参画の啓発事業では、高齢層女性の参加・活動が活発である。その反面、若年層や男性の参加が少ない。イベントの参加者も固定化し、市域への広がりが難しい。



拡 充

各層におけるジェンダーギャップ解消に向けた意識改革の啓発強化

「徳島市男女共同参画推進ネットワーク会議」等と連携し、男女共同参画に関心が薄い層（若年層・中年層・男性）にも参加を促し、地域の様々な人々が男女共同参画の意義について理解を深め、行動に移す啓発を実施



ジェンダーギャップの解消に向けた取組

1 ジェンダーギャップ解消アクション事業（実施時期：令和4年6月～11月）

女性活躍に関するオンラインセミナー及びワークショップを開催することにより意識啓発を行うとともに、ワークショップではお互いの異なる考え方を擦り合わせ、対話をすることで、多様な視点に気づき、意識改革から行動へつながるよう参加者の男女共同参画・女性活躍への理解を深める。

2 女性活躍推進応援事業（実施時期：令和4年5月～12月）

企業における女性活躍のメリットや市内の女性活躍に取り組む企業の先進的な取組事例の紹介、市内のロールモデルを取り上げた女性活躍推進啓発動画を制作し、本市のホームページ（YouTube）や関係団体において、動画を配信し、各企業での女性活躍推進の取組の参考としてもらう。

3 女性活躍推進フォーラムの開催（実施時期：令和5年2月）

女性活躍推進をテーマとしたフォーラムを開催し、ジェンダー平等、ダイバーシティ&インクルージョン、ダイバーシティ経営等をテーマに基調講演を実施するとともに、市内企業の女性活躍推進のための先進事例発表や徳島における女性活躍の現状についてパネルディスカッションを実施する。

1 ジェンダーギャップ解消アクション事業 (6~11月予定)

意識改革

(気づき)

ターゲットを絞ったセミナー開催

性別・年代別の意識の違いに配慮し、ターゲットと啓発目的を明確にし実施

<開催方法> オンライン形式 <時間> 90分程度 <規模> 80人程度

ターゲット	① 大学生	② 市民(主に男性)	③ 企業等の経営者/管理職
テーマ(案)	固定的役割分担意識に捉われない 職業選択・男女の働き方、家庭生活 自分らしい生き方	男性の視点から男女が共に生きやすい社会を考える	男性の育休をニューノーマルに 男女の働き方

行動改革

(やってみよう)

ワークショップの開催

多様な視点に触れることで理解を深め、さらなる意識改革から行動改革へつなげる。

<開催方法> 集合形式(ワークショップ形式) <規模> 20人~50人程度

<構成> 講話45~60分+ワークショップ90分

ロールモデルカフェ

ターゲット	① 主に女子大学生	② 市民等(男女)	③ 子育て世代(男性・女性)
テーマ(案)	固定的役割分担意識に捉われない 職業選択・男女の働き方、家庭生活 自分らしい生き方	誰もが共に生きやすい社会を考える ジェンダーギャップを考える	男性の育休をニューノーマルに 男女の働き方
内容(案)	ロールモデルとなる「政治部門で活躍する女性」や、「起業した女性」「建設業・技術職として働く女性」「企業で活躍する女性」等と、大学生が交流することで、職業選択や働き方、生き方など自身の将来を考えるうえでのヒントとしてもらう。	男女共同参画に関わるテーマについて意見交換を行う中で、固定的役割分担意識、性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気づき、その解消に向けて話し合うことで、誰もが自分らしく暮らせる徳島市へつなげる。	家族や夫婦としての育休取得、仕事と子育ての両立、キャリアを検討するために、ワークやディスカッションを通して、具体的に育休取得計画を検討してもらう。男性の育休の取得、働き方の改革へつなげる。

ネットワーク会議での連携・協働（1）

1 ジェンダーギャップ解消アクション事業

- ◆ 事業企画・運営協力
- ◆ セミナー・ワークショップの周知
- ◆ 各団体におけるセミナー・ワークショップ参加者の募集
- ◆ ロールモデルカフェにおけるロールモデルの募集、推薦

ロールモデルカフェ

実施時期： 7月中旬 実施場所：四国大学古川キャンパス

対象： 大学生（主に女子大学生） 20人程度

ファシリテータ： 加渡 いづみ 氏（四国大学短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科教授）

内容： フォークトークダンス形式

様々な分野で活躍する徳島のロールモデルとの交流や意見交換を行うことで、人生設計を考えるうえでのヒントを得て、自信を深め、自分が希望する自分らしい生き方を選択してもらえるよう行動へつなげる。

<連携・協働>

ロールモデルカフェにおけるロールモデルの募集・推薦

徳島で頑張っている女性 20代・30代 20人程度

2 女性活躍推進応援事業 (5月～12月)

市内のロールモデルを取り上げた女性活躍推進啓発動画を制作し、本市のホームページ(YouTube)や関係団体において動画を配信

女性活躍推進啓発動画内容(案)

【案1】

中小企業における女性活躍推進における課題

- ◆ ロールモデルとなる女性社員が社内にはいない
- ◆ 女性社員自身の能力向上に対する意識が伴わない

こうした課題に対応するため、次の内容を動画に、各企業での女性活躍推進の取組の参考としてもらう。

- ◆ 企業における女性活躍のメリット
- ◆ 市内の女性活躍に取り組む企業の先進的な取組事例の紹介
- ◆ 市内のロールモデルを紹介

【案2】

地域で様々な分野(起業、政治、農業等)で活躍するロールモデルも取り上げ、市域全体で女性活躍推進の機運醸成を図る。

【動画の活用方法】

- 動画は配信して終わりとならないように、本市で実施する関連セミナー等開催の機会ごとに紹介
- 経済団体に積極的に活用していただき、中小企業における女性活躍推進研修のツールの一つとして活用してもらうなど周知を図る。
- 市と関係団体が連携して女性活躍推進啓発動画を制作することで、女性活躍推進の必要性、理解を市域へ浸透させる。

3 女性活躍推進フォーラムの開催（令和5年2月）

女性活躍推進をテーマとしたフォーラム（基調講演・パネルディスカッション）を開催

女性活躍推進フォーラム内容（案）

◆基調講演

テーマ（案）

ジェンダー平等、ダイバーシティ&インクルージョン、ダイバーシティ経営等

◆パネルディスカッション

テーマ（案）

市内企業の女性活躍推進のための先進事例発表や徳島における女性活躍の現状について

ネットワーク会議での連携・協働（2）

2 女性活躍推進応援事業

- ◆ロールモデルの選定、先進的取組の起業事例の選定
- ◆事業実施への助言・提案、動画制作の企画
- ◆完成した動画の周知

3 女性活躍推進フォーラムの開催

- ◆企画・運営への助言
- ◆フォーラムの周知、参加者募集協力

ネットワーク会議の連携・協働により

徳島市男女共同参画社会づくりを実行性あるものに！！